

評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	佐野市	地域再生計画名	新佐野市清流再生計画
計画期間	平成 18 年度～平成 22 年度	交付金交付期間	平成 18 年度～平成 22 年度		

1. 事業の実施状況	当初計画どおり実施した計画		公共下水道 浄化槽【個人設置型】							
2. 地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標		従前値		現在値		効果発現要因			
	指標 1	汚水処理施設の整備促進 汚水処理人口普及率を平成 16 年度末の 58.0%から 74.3% に向上する。	%	平成 16 年度	%	平成 22 年度	△	本計画区域外においても、補助事業を実施しているが、その事業規模が縮小したため、目標を僅かに達成できなかった。		
			58.0		71.7					
指標 2	環境基準観測地点（大古屋橋下）の BOD について 2.0 mg/ℓ以下の達成を図る。			mg/ℓ	平成 22 年度	○	目標値を上回り達成できた。			
3. その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		計画値		実績値		効果発現要因			
							総合所見			
	その他の数値指標 1	公共下水道整備延長	単位	18,210	20,031	○	計画以上の整備を進めることができた。			
	その他の数値指標 2	公共下水道処理人口	人	3,750	2,687	△	区画整理事業(18.2ha)が実施され、合わせて整備を実施したため処理人口の増加につながらず目標を達成できなかった。			
	その他の数値指標 3	浄化槽設置基数	基	1,200	928	△	当初予想していたよりも、実際に申請された件数が少なかった			
その他の数値指標 4	浄化槽処理人口	人	3,360	2,451	△	当初予想よりも住宅一戸で使用する人員が減少したため				
4. 実施過程の評価	指標	公共下水道整備延長 (m)		公共下水道処理人口 (人)		浄化槽設置基数 (基)		浄化槽処理人口 (人)		実施状況の検証
		計画	実施	計画	実施	計画	実施	計画	実施	
	平成 18 年度	5,210	5,212	1,070	672	252	252	706	679	公共下水道整備延長・浄化槽設置基数とも計画を上回ったが、処理人口については、区画整理事業の整備や浄化槽の申請件数の減少により達成できなかった。
	平成 19 年度	2,680	4,012	550	695	200	175	560	466	公共下水道は整備延長・処理人口ともに計画を上回ったが、浄化槽については、申請件数の減少により達成できなかった。
	平成 20 年度	3,440	3,329	710	295	250	179	700	471	公共下水道整備延長は概ね達成できたが、区画整理事業に伴う整備が多かったため処理人口は達成できなかった。浄化槽については、申請件数の減少により達成できなかった。
	平成 21 年度	3,440	3,883	710	561	250	168	700	438	公共下水道整備延長は達成できたが、区画整理事業に伴う整備が多かったため処理人口は達成できなかった。浄化槽については、申請件数の減少により達成できなかった。
	平成 22 年度	3,440	3,595	710	464	248	154	694	397	公共下水道整備延長は達成できたが、区画整理事業に伴う整備が多かったため処理人口は計画を達成できなかった。浄化槽については、申請件数の減少により達成できなかった。
	合計	18,210	20,031	3,750	2,687	1,200	928	3,360	2,451	
5. 総合評価と今後の方針	計画目標である汚水処理人口普及率は、目標値 74.3%に対して実績値 71.7%であったが、水質については、目標値を上回る実績となり、おおむね計画目標は達成できたと考える。しかし、佐野市内で未普及となっている区域はまだ多いことから、今後効率的、計画的な整備を図り、普及率をさらに向上させることで、公共用水域の保全と生活環境の改善を図る。									